

1月例会『ニューヨーク眺めのいい部屋売ります』

ホームページのアドレスが変更になりました

新年明けましておめでとうございます

昨年は、いろいろなことがあったと思いますが、2017年がハッピーエンドの年となることを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

年未年始は、いろいろな映画賞の結果が出る映画の季節、映画を楽しみましょう。

加古川シネマクラブとしては、昨年と全く同じく会員数の減少というこの会の存続にかかわる問題が解決しないまま、新年を迎えました。良質の映画は、少しの間ですが、知らない世界に連れて行ってくれ、感動と知識を与えてくれ、人生を豊かにしてくれるものです。会員の皆様には、映画鑑賞の楽しさを伝え、ひとりでも多くの仲間を増やしていただきますようお願いいたします。

ホームページのアドレスの変更について

加古川シネマクラブのホームページは、ニフティのホームページを使用していましたが、ニフティのホームページサービスが廃止になってしまいました。

つきましては、新たに、下記アドレスにホームページを移行しましたのでご案内いたします。

廃止に気づかず、また、移行に手間がかかり、約3週間、アクセスできない状態になっていました。移行期間中にアクセスした会員の皆様には、ご心配ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

<http://kakogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

例会のお知らせ

■名称／第88回例会

『ニューヨーク 眺めのいい部屋売ります』

■日時／2016年1月27日(金) ①PM2:00～、

②PM4:20～、③PM6:40～

■場所／加古川総合文化センター大会議室(JR 東加古川駅から北へ徒歩10分、車は加古川バイパス 加古川東ランプ北東へ600m)

■受付／入会手続きが終わっている方は、受付に同封の「例会参加券」をお渡しください。入会手続きを行っていない方は、受付で4箇月分の会費(2000円)を支払い、入会手続きを終えてから、「例会参加券」をお受取りください。

■タイトル／ニューヨーク 眺めのいい部屋売ります

■監督／リチャード・ロンクレイン

■出演／モーガン・フリーマン、ダイアン・キートン、シンシア・ニクソン、クレア・バン・ダー・ブーム、コーリー・ジャクソン

■データ／2014年、アメリカ、1時間32分

■ジャンル／ヒューマンドラマ

■解説／モーガン・フリーマンとダイアン・キートンというオスカー俳優2人の初共演で贈るハートフル・ドラマ。原作はジル・シメントの全米ベストセラー『眺めのいい部屋売ります』。

■ストーリー／

眺めのいいアトリエと、屋上の菜園もある住み慣れた我が家。ただひとつ欠点は・・・ブルックリンの街を一望できるアパートメントの最上階、画家のアレックスと愛妻ルースがこの理想的な我が家に住んで40年が経った。しかし、この

建物には欠点がひとつだけあった。それはエレベーターが無いこと。アレックスが日課となった愛犬ドロシーとの散歩を終え、5階にある我が家への階段をようやく上り終えて帰宅すると、姪のリリーが明日の準備のためにきていた。夫の今後の心配をしたルースがエレベーターのある住所へ引っ越そうとアレックスを説き伏せ、今の住まいを売ることにしたのだ。いよいよ明日が購入希望者のためのオープンハウスの日。不動産エージェントをやっているリリーは手ぐすね引いて内乱希望者を待ち構えていた。そんなとき、ドロシーに異変が。夫妻は5番街の行きつけの動物病院へとタクシーを走らす。ところが、車は一向に動かない。折から、マンハッタンへ渡る橋上でタンクローリーが道をふさいでいるらしい。ようやく獣医に見てもらったドロシーはヘルニアを患っており、手術が必要と言われてしまう。翌朝、やる気満々のリリーがお客を連れてやって来た。オープンハウスは一風変わったニューヨーカーたちで大賑わい。早速いくつかのオファーが入



ると同時に、獣医からドロシーの手術成功の連絡を受け取り、二人はほっと一安心。一方、いそいそと新居候補を探し始める ルースとアレックスをよそに、タンクローリー事故は一夜にしてテロ事件へと様相を変えていた。はたして、アレックスとルースの見晴らしの良い我が家は誰の手に渡るのか？ そして、アレックスとルースが最後に下した決断とは？

(作品ホームページから抜粋)

忘年会を開催しました

今年の忘年会は、12月11日(日)に東加古川駅前の荻慶で、明石シネマクラブの有志を含め計12人の参加で開催しました。鍋と魚料理を楽しみながら、一年を振り返ったり、近況や映画のことを語り合いました。

2017年よりもより多くの人と映画談議ができる良い年であることを期待しています。

田辺・弁慶映画祭

昨年秋、実家に帰った時、姪から「おばちゃんたち、今、第10回田辺・弁慶映画祭してるよ。映画好きやから行く〜？」と声をかけられ「え〜映画祭？毎年開催しているなんて知らなかった どんなんかな〜 いくいく〜」

夜、第10回を記念して作られた「ポエトリーエンジェル」(監督 飯塚俊光 主演 岡山天音 武田玲奈)を観ました。初めて知る、詩のボクシング？ と思いつつ…不器用な人々の姿を可笑しく、時にせつなく描いていましたが、ロケ地が田辺なのに、「田辺弁」がでてこなし。残念。

終了後、監督と主演2人がトークショー。

次の日は、「モヒカン故郷に帰る」上映後 沖田修一監督となんと松田龍平さんによる舞台挨拶もありました。もちろん並びました。すてきなゲストが多くてなんて贅沢な映画祭でしょう。ほかに短編映画のコンペティション作品の上映していました。上映会場である紀南文化会館では、コンペ作品を出している作製スタッフらしき若い方がたくさんおられました。女性監督が4人いたせいかスタッフも女性の方が多かったような気がしました。

この映画祭開催のきっかけが、上野樹里さんの「幸福のスイッチ」と聞き、加古川と田辺のつながりの不思議にびっくりしました。(山本芳明)

前回例会の報告

11月15日の例会では、淡路島の玉ねぎづくりをテーマに、農業に取り組む人々を描いた映画『種まく旅人〜くにうみの郷〜』を鑑賞しました。わかりやすいヒュ

ーマンドラマで、ブレイク前の桐谷健太の演技も初々しく、素直に良かったという感想が多かったです。

参加会員75人、明石シネマクラブからの参加者7人で合計82人の参加者でした。

明石シネマクラブ例会情報

■名称／『団地』(2016年、日本、103分)

■解説／阪本順治
監督が日本アカデミー賞最優秀監督賞など数々の映画賞を受賞した「顔」の藤山直美と15年ぶりにタッグを組み、団地に越し



て来た夫婦にまつわる噂が引き起こす一大騒動を描く。三代続いた漢方薬の店を売り払い、団地へ越してきた清治とヒナ子夫妻。昼間から散歩ばかりの清治に団地の住人たちはあれこれと噂をしているようだが、ヒナ子はそんなことも気にせずパートに出かける毎日を送っていた。清治が散歩に出なくなると、離婚、清治の蒸発、さらには殺人か、などと好き勝手なことを噂される始末・・・

■監督／阪本順治

■出演／藤山直美、岸部一徳、大楠道代、石橋蓮司、斎藤工

■日時／2月23日(水) ①PM2:00-、②PM4:30-、③PM7:00-

■場所／アスピア明石9階子午線ホール(JR明石駅東徒歩5分)

■目的・内容／加古川シネマクラブと明石シネマクラブの交流事業として、映画鑑賞の機会を増やし新入会員を増やそうと、例会に相互参加できるようにしています。

■受付／会場受付で、①加古川シネマクラブの会員であることを証明するもの(氏名が記されている例会参加券が送られてきた封筒など)を提示し、②鑑賞希望であることを告げて、③受付簿にサインする

■明石シネマクラブ TEL 090-3860-6662

ご意見をお待ちしています

映画の感想や意見など、このニュースへ記事をお寄せください。200-300字程度にまとめていただければ助かります。おすすめ作品をファックス、メールや例会会場のアンケート用紙でお知らせください。

加古川シネマクラブ 〒675-0101

加古川市平岡町新在家 752-46 B-313 山本方

TEL 090-9283-0435 FAX 078-935-8528

E-MAIL cinemaclub@nifty.com

<http://kagogawacinemaclub.c.ooco.jp/>

会員数 135 人(11月15日現在)